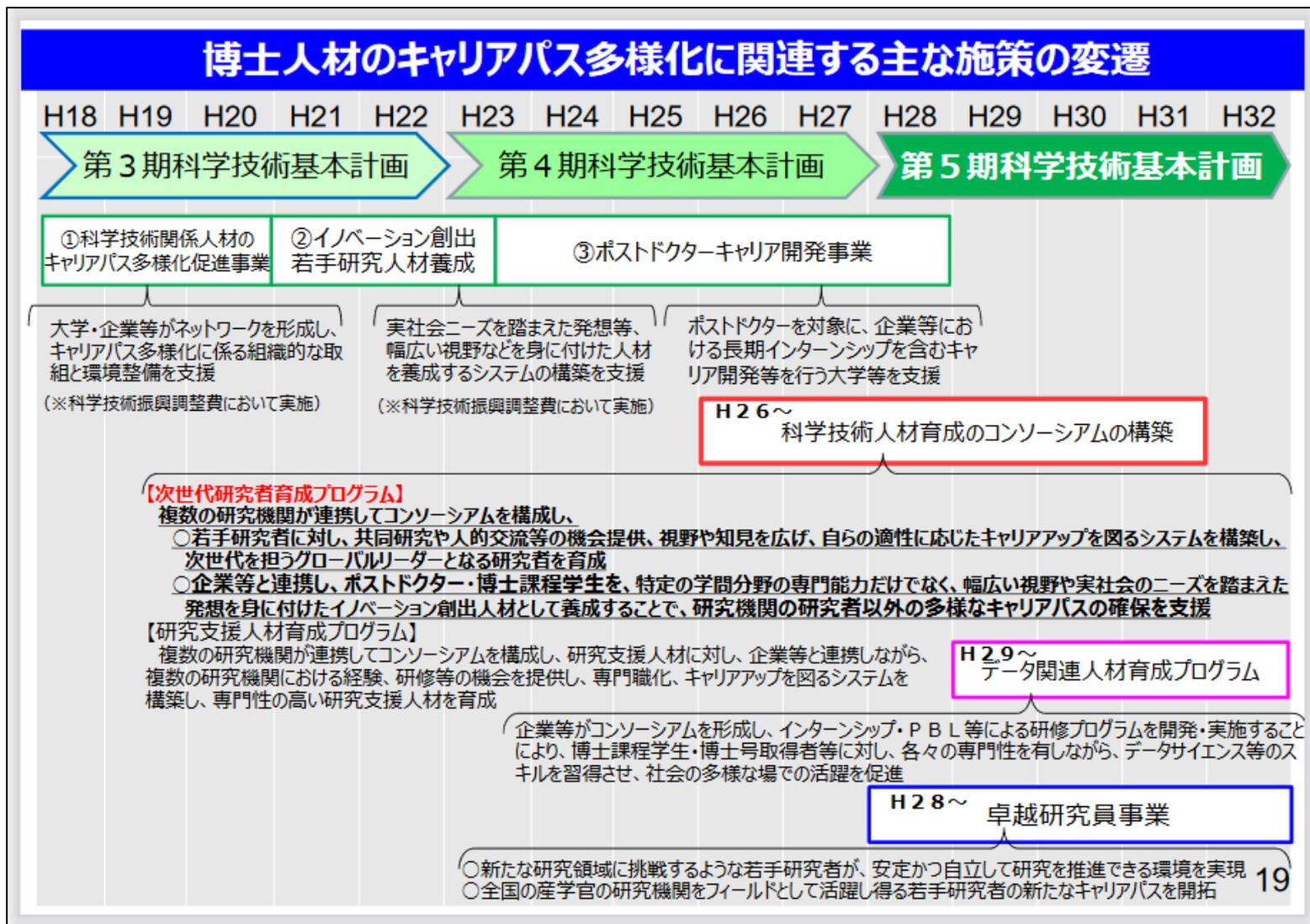


■ 次世代のキャリアパス・人材育成の施策例



■ 大学における博士人材のキャリア開発の取組例

YOKOHAMA National University
国立大学法人 横浜国立大学 成長戦略研究センター

キーワード 検索

TOP | 新着情報 | イベントスケジュール | よくあるご質問・お問い合わせ | アクセス | Facebook | 成長戦略教育研究センター

横浜国立大学 成長戦略研究センター ドクターキャリア開発部門は、文部科学省委託事業「ポストドクター・キャリア開発事業」（2012～2016年度）の自立化後継事業として、博士人材（後期博士課程在籍者・ポストドクター）を対象に、大学教員や独立行政法人研究機関の研究者にとどまらず、多様なキャリアパスを確保し、社会で活躍できる人材の輩出を目指して活動しています。

2020年度<オンライン>キャリアパスフォーラム
→詳細ページ：2020年度キャリアパスフォーラム
開催日時：2020年11月14日(土)13:00-17:00（予定）
実施方法：オンライン
対 象：博士課程後期在籍者、ポスドク（博士研究員）

※終了しました 2019年度キャリアパスフォーラム
→詳細ページ：2019年度キャリアパスフォーラム
開催日：2019年12月7日(土) 10:15-19:00
場 所：神奈川産業振興センター13・14階
対 象：博士課程後期在籍者、ポスドク研究員

※終了しました 2019年度博士のシーズ発表会
→詳細ページ：2019年度博士のシーズ発表会
開催日：2019年10月25日(金) 13:30-17:00
場 所：横浜国立大学 大学会館4階会館ホール
対 象：横浜国立大学博士課程（前期・後期）在籍者、ポストドクター

※終了しました 平成30年度キャリアパスフォーラム
→詳細ページ：平成30年度キャリアパスフォーラム
※企業の募集は締め切りました
※参加者の募集は締め切りました
開催日：2019年1月12日(土)
場 所：神奈川産業振興センター（神奈川中小企業センタービル）
http://www.kipc.or.jp/about_kip/access/
対 象：博士課程後期在籍者・ポストドクター

※終了しました 平成30年博士のシーズ発表会
→詳細ページ：平成30年度博士のシーズ発表会
開催日：2018年10月19日(金) 13:30開始予定
場 所：横浜国立大学 教育文化ホール
対 象：横浜国立大学博士課程（前期・後期）在籍者、ポストドクター

※終了しました 先達ドクターと語る会
第2回 8月31日（水） 17:00～18:30
場所：横浜国立大学 電子情報工学棟（N6-2）109学生交流室（予定）
本学で博士号を取得した若き先輩達（現企業人）に企業ライフを聞くこと

※終了しました 高度専門職とキャリア開発 集中講義
2018年8月6日(月)～8月9日(木)
8月6日 総論・スキルデザイン講座
8月7日 新規事業開発講座・マーケティング講座
8月8日 知財マネジメント講座・研究企画講座
8月9日 総括討論
場 所：横浜国立大学常盤台キャンパス（教室未定）

このページに「いいね！」

横浜国立大学 ドクター キャリア開発 部門
約2ヶ月前

【お茶の水女子大主催「ワークインプログレス2020」のご案内】
【対象：（※女子学生のみ）博士後期課程学生】

キャリア開発支援プログラム

リーダー養成講座
博士のシーズ発表会・キャリアパスフォーラム

2019年度博士のシーズ発表会
2019年度キャリアパスフォーラム

※本事業は終了しました※ポストドクター・キャリア開発事業（124～28年度）

本事業について
ポストドクター・ドクターの方へ
企業の方へ
教員の方へ

キャリア開発支援プログラム

- キャリア養成講座
- ドクター交流会
- 海外グローバル・キャリア研修
- キャリアパスフォーラム
- キャリア相談会

長期インターンシップ

- 受入企業登録
- 受入登録企業一覧

事前登録/ポストドクター台帳
パンフレット一覧
関連サイト
よくあるご質問

※ 横浜国立大学HPより。

(参考)

ポストドクター・キャリア開発事業（概要）

（※平成23年度より旧科学技術振興調整費「イノベーション創出若手研究人材養成」をポストドクター・インターンシップ推進事業に統合。平成24年度より本事業の名称に変更。）

課題

民間企業におけるポストドクターの採用実績が低く、産業界も含めた多様なキャリアパスの開拓が必要。

※ポストドクター：博士号取得後、大学等の研究機関で研究業務に従事している者であつて、教授、准教授等の職に就いていない、任期付きの研究者。

【参考】

『第4期科学技術基本計画』（平成23年8月19日閣議決定）（抜粋）

IV 基礎研究及び人材育成の強化

3. 科学技術を担う人材の育成

(1) 多様な場で活躍できる人材の育成

② 博士課程における進学支援及びキャリアパスの多様化<推進方策>

・ 国、地方自治体、大学、公的研究機関及び産業界は、互いに協力して、博士課程の学生や修了者、ポストドクターの選抜や希望、専門分野に応じて、企業等における長期インターンシップの機会を充実を図るなど、キャリア開発の支援を二層推進する。

『第2期教育振興基本計画』（平成26年6月14日閣議決定）（抜粋）

第2部 今後5年間に実施すべき教育上の方策

～四つの基本的方向性に基づき、8の成果目標と30の基本施策～

1. 四つの基本的方向性に基づく方策

2. 未来への飛躍を実現する人材の養成

基本施策15大学院の機能強化等による卓越した教育研究拠点の形成、大学等の研究力強化の促進

【主な取組】

15-1 独創的で優秀な研究者等の養成

人材の流動化を図りつつ、博士人材の多様なキャリアパスを切り拓くための産学協働の取組を進める。

採用実績：民間企業におけるポストドクターの採用実績は低い

博士課程修了者(n=900)

ポストドクター(n=861)

企業の採用後の印象：ポストドクターは採用企業の期待にえている

博士課程修了者を採用した企業(n=51)

ポストドクターを採用した企業(n=59)

※「民間企業の研究活動に関する調査報告（平成19年度）」（平成21年1月、文部科学省）より作成。有効回答数：924社。

事業の概要

ポストドクターを対象に、企業等における長期インターンシップ（3ヶ月以上）の機会の提供等を行う大学等を支援する。

支援対象：大学、独法研究機関等（平成20～23年度は機関申請、平成24年度は共同申請）

※平成27年度は10件（15機関）

事業期間：5年間

支援額：1件当たり年間50百万円（上限）

支援内容：ポストドクターを対象にした長期インターンシップ事業を実施する大学等に対して、インターンシップの対象者にかかる経費（人件費、旅費等）、や以下の取組を行うための経営を支援。

- ・ インターンシップの対象者への講義
- ・ 実施機関（大学・企業等）、対象者等の交流会
- ・ 関係者（ポストドクター、指導教員、企業等）への意識啓発

等

※平成25年度以降の新規選定は実施せず。

事業のイメージ

※ 文部科学省 科学技術・学術審議会人材委員会・中央教育審議会 大学分科会大学院部会合同部会（平成30年3月16日）資料2-2-2より。
 ※ 赤線は事務局にて付記。

| ポストドクター・インターンシップ推進事業の実施機関 | | | | | |
|---------------------------|--------|---------------|--------|----------|--------|
| 京都大学 | 大阪大学 | 大阪府立大学 | 北海道大学 | 東北大学 | 東京工業大学 |
| 九州大学 | 広島大学 | 金沢大学 | 名古屋大学 | 慶応義塾大学 | 早稲田大学 |
| 神戸大学 | 岐阜大学 | 三重大学 | 立命館大学 | 千葉大学 | 信州大学 |
| 新潟大学 | 東京大学 | 北陸先端科学技術大学院大学 | 東京農工大学 | 熊本大学 | 群馬大学 |
| 福井大学 | 奈良女子大学 | 筑波大学 | 東京海洋大学 | お茶の水女子大学 | 岡山大学 |
| 横浜国立大学 | 静岡大学 | 大阪市立大学 | | | |

※ JST 博士人材キャリア開発サイトより抜粋。

■ コンソーシアムによる博士人材のキャリア開発の取組例1

計算物質科学人材育成コンソーシアム PCoMS
Professional development Consortium for Computational Materials Scientists

English
ホーム
PCoMSとは
次世代研究者育成
イノベーション創出人材育成
お知らせ
セミナー・講演会・研修
お問い合わせ
人事公称情報
関連リンク

IMR 東北大学金属材料研究所
Institute for Materials Research, Tohoku University

1919-2019
Institute for Materials Research
Tohoku University
IMR
創立百周年 東北大学金属材料研究所

未来の計算物質科学分野をリードする
若手研究者、博士後期課程学生を
支援します
We support the next generation professionals of high-performance computing
technology for computational materials science.

東北大学（主として金属材料研究所）、東京大学（主として物性研究所）、自然科学研究機構分子科学研究所、大阪大学（主としてナノサイエンスデザイン教育研究センター）は、2015年8月に「文部科学省 科学技術人材育成費補助事業 国立研究開発法人科学技術振興機構『科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業（次世代研究者プログラム）』」の採択を受け、計算物質科学人材育成コンソーシアム（Professional development Consortium for Computational Materials Scientists: PCoMS）を設立いたしました。

本コンソーシアムでは、広範な物質科学領域と基礎、応用、実用化の全段階を俯瞰しつつ、ハイパフォーマンスコンピューティング技術を駆使して物質科学分野の課題発見と解決ができる人材育成の環境を整備し、同時に、若手研究者の安定雇用につながる仕組みを構築することによって若手研究者を支援します。

次世代研究者育成
「ハイパフォーマンスコンピューティング技術」と「計算物質科学の最先分野の専門性」を合わせ持つ次世代リーダーをめざしてませんか？

イノベーションを創出するPD,DCの
多様なキャリアパス形成を支援する
PCoMS
イノベーション創出人材育成

- お知らせ** [一覧を見る](#) **セミナー・講演会・研修** [一覧を見る](#)
- 2019年2月14日
2018&2019年度イノベーション創出人材育成プログラム **必修科目**、**選択科目**、**修了要件表（日英版）**を更新しました。日英併記です。
プログラムへのお申込は随時申込受付中です。
 - 2018年9月20日
PCoMSに寄せられる人事公称情報のホームページへの掲載を開始致しました。
詳しくは、[こちら](#)。
 - 2018年4月20日
PCoMS「次世代研究者中間評価」において、**芝 隼人氏（東北大学）、三澤 貴宏氏（東京大学）**に「PCoMS次世代研究者奨励賞」を授与しました。
 - 国内外の企業、研究機関でのインターンシップや各種研修に興味のある方は [こちら](#)（イノベーション創出人材育成プログラム） をご覧の上、ご応募ください。随時申込受付中です。
 - 2017年1月18日
PCoMSとMI²の合同支援によるNIMSインターンシップ制度 応募者を募集します。
詳細は、[MI²のホームページ](#)をご覧ください。
 - 掲載は、開催日程順です。
 - new!!2020年8月19日 13:00-17:15
オンライン開催
「第9回 MaSC技術交流会『Real Exchange』『計算科学の最前線 - 易しい基礎から航空機まで - 』」（PCoMS他共催）を開催します。
詳細と申込方法は、[こちら](#)。
 - 2020年2月14日 9:30-17:00
東北大学 金属材料研究所（仙台）
「PCoMS OpenMX hands-on seminar」（PCoMS他共催）を開催しました。詳細は、[こちら](#)。
 - 2019年12月10日 9:30-17:30
東北大学 金属材料研究所（仙台）
「PCoMS TOMBO hands-on seminar」（PCoMS主催）を開催しました。詳細は、[こちら](#)。
 - 2019年10月24-25日
東北大学 金属材料研究所（仙台）
「PCoMSシンポジウム&計算物質科学スーパーコンピュータ共用事業報告会2019」（PCoMS他共催）を開催いたしました。詳細は、[こちら](#)。

※ 計算物質科学人材育成コンソーシアム (PCoMS) (代表機関: 東北大学) HPより。

(参考)

科学技術人材育成のコンソーシアムの構築

平成30年度予算額 : 1,242百万円
 (平成29年度予算額 : 1,326百万円)

背景・課題

- 若手研究者の雇用が不安定であるなど、若手研究者が自立的に研究を行う環境が十分でない。
- 複数の研究機関の連携の下、若手研究者が多様な研究経験を積み重ね、能力の向上を図ることが重要。

事業の概要

- 科学技術イノベーションの重要な担い手である若手研究者の育成のため、複数の研究機関が連携し形成するコンソーシアムによるモデルとなるプログラムの開発を支援する。

【事業スキーム】

- ✓ 支援対象：大学、研究機関が形成するコンソーシアム
- ✓ 事業期間：8年間(ただし補助期間は5年間)
- ✓ 補助金額：原則上限1億円
 (研究者のスタートアップ研究費、研究環境整備費、インターンシップ経費等)

※ 本事業は平成28年度以降新規採択を実施していない。



【コンソーシアム一覧】

| 選定年度 | 代表機関 | 共同実施機関 | コンソーシアム名 |
|--------|----------------|-------------------------------|---|
| 平成26年度 | 北海道大学 | 東北大学・名古屋大学 | 連携型博士研究人材総合育成システムの構築 |
| | 京都大学 | 大阪大学・神戸大学 | 京阪神次世代グローバル研究リーダー育成コンソーシアム |
| | 広島大学 | 山口大学・徳島大学 | 未来を拓く地方協業プラットフォーム |
| | 産業技術総合研究所 | 筑波大学・京都大学・北海道大学・東京大学・東京工業大学 等 | ナノテクキャリアアップアライアンス |
| | 群馬大学 | 宇都宮大学・茨城大学 | 地域特性を活用した「多能工型」研究支援人材養成拠点 |
| | 東京海洋大学 大阪大学 | 岩手大学・北里大学 京都大学・東京医科歯科大学 | 水産海洋イノベーションコンソーシアム 再生医療支援人材育成コンソーシアム |
| 平成27年度 | 東北大学 | 東京大学・大阪大学・自然科学研究機構分子科学研究所 | 計算物質科学人材育成コンソーシアム |
| | 東京大学 | 東京工業大学・電気通信大学・早稲田大学・慶応義塾大学 | 最先端融合科学イノベーション教育研究コンソーシアム |
| | 東京農工大学 | 国際基督教大学・早稲田大学・産業技術総合研究所 | 未来価値創造実践人材育成コンソーシアム |

※ 文部科学省 平成30年度公開プロセス資料より。
 ※ 赤線は事務局にて付記。

■ コンソーシアムによる博士人材のキャリア開発の取組例2

早稲田大学で学べるデータ科学教育

基礎研修プログラム

正規科目 (GEC設置)

- 統計リテラシーα
- 統計リテラシーβ
- 統計リテラシーγ
- 統計リテラシーδ
- RIによる統計解析
- データ科学入門α
- データ科学入門β
- データ科学入門γ
- データ科学入門δ 等

自習用コンテンツ

- 統計シリーズ
- データ科学シリーズ

セミナー

- ハンズオンセミナー
 - ・アンケート分析
 - ・因子分析
 - ・自然言語処理
 - ・画像処理
- データ科学入門フォローアップセミナー 等

実践研修プログラム

- データサイエンスコンペティション
- 海外実践研修プログラム
- インターンシップ・プログラム

データ科学シンポジウム

その他 各学術院等に設置されている正規科目

Math and Stat センター
データ科学の基礎的な内容に関するQ & A

データ科学研究相談
データ科学の研究活用に関する相談窓口

※ 早稲田大学 データ科学センターHP 「高度データ関連人材育成 (D-DATa) プログラムについて」より。

(参考)

データ関連人材育成プログラム

令和2年度予算額
(前年度予算額)

271百万円
303百万円



背景・課題

- 世界で最初に本格的な少子高齢化を迎えた我が国が豊かな社会を実現するためには、我が国が強みを発揮できる技術とAI技術を融合して産業競争力の強化につなげつつ、減少する労働力を補完し、生産性の向上等に資するAI技術が必要であるが、我が国ではAI技術を使いこなすIT人材が大幅に不足すると推計されている。
- IT人材のうち特に、データサイエンティストのチームを率いて、組織におけるビッグデータ利活用を先導できる「エキスパート人材」が不足すると見込まれており、高度人材に対する教育プログラムの展開が必要。
- また、次代のAI技術を牽引する人材の育成が求められており、高等学校段階でのAI、データサイエンス分野に関する教育の充実が必要。

事業概要

【事業の目的・目標】

- 各分野の博士人材等について、データサイエンス等を活用しアカデミア・産業界・教育分野を問わず活躍できるトップクラスのエキスパート人材を育成する研修プログラムを開発・実施する。
- AI・数理・データサイエンスに関する教育について先進的な取組を行う高等学校等と連携し、これらのテーマに関する探究的な学習を促進。

【事業概要・イメージ】

- 大学、企業等がコンソーシアムを形成し、博士課程学生・博士号取得者等の高度人材に対して、データサイエンス等のスキルを習得させる研修プログラムを開発・実施し、キャリア開発の支援を実施することにより、高度データ関連人材を育成し、社会の多様な場での活躍を促進。

令和2年度の新規取組事項

- 次代のAI技術を牽引する高校生の育成など教育分野でも活躍できる人材を育成できるよう、研修プログラムに高等学校教育に関する内容を追加。
- AI・数理・データサイエンスに関する教育について先進的な取組を行う高等学校等と連携し、博士人材を派遣することなどにより、高等学校等における探究的な学習を促進。高等学校等においては、特別免許状や非常勤講師制度も活用。



<多様なキャリア>
コンソーシアムに参加する企業等における雇用を通じて、博士課程学生・博士号取得者等のデータ関連人材としての多様なキャリアを実現

- ✓ 支援対象経費：
研修プログラムの開発・実施経費、全国的な普及・展開経費、次代のAI技術を牽引する高校生の育成に係る経費
- ✓ 事業期間：
最大8年間(補助対象期間は5年間) ※3年目に中間評価を実施
- ✓ 支援拠点数 7拠点程度(うち新規1拠点程度[高等学校等との連携])

【選定実績】

- ・東京医科歯科大学(ビッグデータ医療・AI創薬コンソーシアム)
- ・電気通信大学(データアントレプレナーフェロープログラム)
- ・大阪大学(データ関連人材育成関西地区コンソーシアム、全国ネットワーク)
- ・早稲田大学(高度データ関連人材育成プログラム)
- ・北海道大学(次世代スマートインフラ管理人材育成コンソーシアム)

※ 文部科学省HP「データ関連人材育成プログラム」より。
※ 赤線は事務局にて付記。

■ 横のつながり醸成に関する取組例

「博士課程教育リーディングプログラム」における取組

博士課程教育リーディングプログラムフォーラム2018
(主催:東京工業大学、一橋大学)

第5回全国博士課程教育リーディングプログラム学生会議
(主催:学生所属プログラム:信州大学(U02))

第2回全国博士課程教育リーディングプログラム合同女子会
(主催プログラム:お茶の水女子大学(T02))

当日のプログラム

- 日時: 平成30年12月4日(火) 11:00~20:00
会場: 一橋大学一橋講堂(東京都千代田区三軒橋 2-1-2)
参加者: 368名
- 11:00-11:20 【一橋講堂】開会式
- 開会の辞
東京工業大学 学長 益一哉
 - ご挨拶
文部科学省 大臣官房審議官(高等教育局及び高大接続担当) 玉上 晃
 - 趣意説明
(実行委員長) 東京工業大学 総括理事・副学長、理事・副学長(企画担当) 佐藤 昌
- 11:30-12:10 【一橋講堂】Session B: 特別講演
文部科学省 高等教育局 大学振興課 大学改革推進室室長 平野 博紀
- 12:20-13:30 【会議室 201-203, セミナー室】Session B: グループ討議
- 11:30-14:50 【中会議室1・2】Session A-1: ファイナリストによる提案ブラッシュアップ
- 11:30-13:20 【中会議室3・4】Session A-2: ポスター発表者による提案ブラッシュアップ
- 13:40-14:50 【一橋講堂】Session A-2: ポスター発表者によるピッチ
- 15:00-15:50 【一橋講堂】Session B: パネルディスカッション
- 16:00-17:20 【一橋講堂】Session A-1: ファイナリストによる口頭発表

- 19:00-19:40 【一橋講堂】表彰式
選考方法説明と表彰
(審査委員長) 東京工業大学 グローバルリーダー教育院 (AGL) 教育院長、教授 中村 聡
- 19:40-20:00 【一橋講堂】閉会式
閉会の辞
(実行委員長) 東京工業大学 総括理事・副学長、理事・副学長(企画担当) 佐藤 彰

| | 2F | | | | 9F |
|-------|---|---|---|---------------------------------|---------------------------------|
| | 一橋講堂 | 中会議場1・2 | 中会議場3・4 | 会議室 201-203 | |
| 11:00 | 開会式 / 11:00-11:20 | | | | |
| 11:30 | Session B: 特別講演 / 11:30-12:10 | | | | |
| 12:00 | | | | | |
| 12:30 | | | Session A-2: ポスター発表者による提案ブラッシュアップ / 11:30-13:20 | Session B: グループ討議 / 12:20-13:30 | Session B: グループ討議 / 12:20-13:30 |
| 13:00 | | Session A-1: ファイナリストによる提案ブラッシュアップ / 11:30-14:50 | | | |
| 13:30 | | | | | |
| 14:00 | Session A-2: ポスター発表者によるピッチ / 13:40-14:50 | | | | |
| 14:30 | | | | | |
| 15:00 | Session B: パネルディスカッション / 15:00-15:50 | | | | |
| 15:30 | | | | | |
| 16:00 | Session A-1: ファイナリストによる口頭発表 / 16:00-17:20 | | | | |
| 16:30 | | | | | |
| 17:00 | | | | | |
| 17:30 | | | | | |
| 18:00 | | | 意見交換会 / 17:30-18:30 (中会議場2・3・4) | | |
| 18:30 | | | | | |
| 19:00 | | | | | |
| 19:30 | 表彰式・閉会式 / 19:00-20:00 | | | | |
| 20:00 | | | | | |



今年度の学生会議では、「Understanding People」と題して「理解し合うこと」をテーマに参加者の皆さんと活発な討論をしたいと考えています。

各リーディングプログラムに所属する学生はそれぞれのプログラムで目指す分野が違っても、共通して「グローバルな視野を持ったリーダーとなること」を目指しています。将来、プログラムの修了生たちは、国内外に問わず学術界・産業界、また市民のリーダーとしてのキャリアを歩んでいくことでしょう。そして、時には自分とまったく異なる価値観の人々と向き合わなければならないこともあると思います。異なる価値観を持った人々を導いて目標を達成していくには、彼らが私たちと同じように考えていると思えず、彼らの価値観の根底にある背景をしっかりと理解しなければなりません。

そのため、今回の学生会議のワークショップでは「価値観の根底にある背景を理解し合うこと」に重点をおいて討論をしたいと考えています。

私たちに深く関係する社会的な問題について、批判的に考えられるようないくつかの課題を用意しました。

参加者のみなさんには、ぜひこのワークショップを通して、「自身の価値観・考え方を問いなおし」、「議題に含まれる社会的な問題を明らかにし」、「現実性がありグループ内の全員が同意できるような解決策を見つける」ことを経験していただきたいと思います。

将来異なる価値観の人々と向き合っていく時、このワークショップでの体験が役に立つことを願っています。

みなさんの多様な意見を楽しみにしています。



1. 日本社会で働く外国人について
副題: a. 現実と期待のギャップ
b. 上司と部下との間の情報共有の問題
2. 階層型企業と非階層型企業の比較について
3. 日本の過重労働を改善するために必要なこと
副題: 低出生率と労働条件との関係
4. 学生生活における勉強と私生活のバランス
5. 大学ランキングの信頼性
6. 教育体制をよりよくするために必要な要素
副題: a. 成績を重要視しない教育システム
b. 対話型教育における長所と短所
7. どの様なリーダーシップが必要か?

参加者を21グループに分け、3グループに同一のトピックを振り分けます。
各グループ6人、ファシリテーターの計7人で行う予定です。

| 日程 | |
|---|--|
| 2018年11月16日(金) ~ 17日(土) | |
| 会場 | |
| 宿泊型研修施設「レクトレ熱海小浜」 〒413-0029 静岡県熱海市小浜町15-9 JR熱海駅よりタクシー約15分、JR伊東線の末吉駅よりタクシー約10分 URL: https://tkp-resort.net/lecture/atami_koarashi/ | |
| 対象 | |
| 全国の博士課程教育リーディングプログラムに所属する女子学生(定員20名) 参加者が多い場合はプログラムごとの人数に偏りがでないよう、調整させていただきます。 | |
| プログラム(予定) | |
| 【第1部】 11月16日(金) | 13:30-14:10 オープニング、参加者自己紹介等 14:10-18:20 講演・ワークショップ「なぜ、女性のリーダーが必要なのか」 講師: 高松 和子 (公益財団法人21世紀職業財団 長崎執行理事兼事務局長) ソニー(株)にて総合企画部事業企画担当部長や環境担当VP・環境推進センター長を歴任。ワークショップでは、高松先生ご自身のキャリアや心掛けてきたことを交え、女性リーダーについてのお話をさせていただきます。参加学生は、「キャリアで大事にしたいこと」「さらに女性が活躍するためには」をテーマに、女性フーカーの方々と共に話し合います。 18:30-19:30 夕食 20:30-21:30 意見交換会(会費:1人2,500円を予定) |
| 【第2部】 11月17日(土) | 9:00-10:00 ワークショップ「ダイバーシティな組織でのリーダーシップ」 10:10-11:10 ワークショップ「メンタルヘルスへいざいきと働いていくために～」 11:10-11:30 講師・全体討論等 クロージング 12:00 終了 |
| 経費について | |
| ・参加学生の交通費は参加学生所属プログラムより支出願います。(宿泊費や会場費は当日イベントの経費から会場側一括で支払いますので、各プログラムからは参加学生の交通費のみ負担ください) ・意見交換会費(1人2,500円を予定)は当日会場で徴収します。 ・最寄駅の熱海駅、末吉駅からの会場までの送迎、公共交通機関はございません。 あらかじめご了承ください。(参考:片道タクシー15分、1300円程度※公式ホームページより) | |
| 参加登録 | |
| メールにて、氏名(ふりがな)、所属先プログラム名、メールアドレスを明記の上、下記までお送りください。 合同女子会実行委員会事務局 leading-jointseminar2018@cc.ocha.ac.jp | |
| 申込み締め切り: 2018年10月19日(金) | |
| 問い合わせ先 | |
| E-Mail: leading-jointseminar2018@cc.ocha.ac.jp 事務局: お茶の水女子大学リーディング大学院推進センター TEL 03-5978-5776 (担当: 市川) ※なるべくメールにて連絡をお願いします。 幹事学生: 橋古奏子、北川めぐみ | |

※ 日本学術振興会HP「関連の全国イベント」より。

■ 横のつながり醸成に関する取組例

「博士課程教育リーディングプログラム」における取組

| 関連の全国イベント | |
|--|--|
| ○博士課程教育リーディングプログラムフォーラム (公式ウェブサイトへのリンク) | |
| 2019年11月30日 | 博士課程教育リーディングプログラムフォーラム2019 (主催：早稲田大学) |
| 2018年12月4日 | 博士課程教育リーディングプログラムフォーラム2018 (主催：東京工業大学、一橋大学) |
| 2017年10月20日-21日 | 博士課程教育リーディングプログラムフォーラム2017 (主催：名古屋大学) |
| 2016年11月11日-12日 | 博士課程教育リーディングプログラムフォーラム2016 (主催：慶應義塾大学) |
| 2015年10月24日-25日 | 博士課程教育リーディングプログラムフォーラム2015 (主催：東京大学) |
| 2014年1月10日-11日 | 博士課程教育リーディングプログラムフォーラム2013 (主催：大阪大学) |
| 2013年3月15日-16日 | 博士課程教育リーディングプログラムフォーラム2012 (主催：東京工業大学) |
| ○全国博士課程教育リーディングプログラム学生会議 (公式ウェブサイトへのリンク) | |
| 2017年7月8日-9日 | 第5回全国博士課程教育リーディングプログラム学生会議 (主催学生所属プログラム：信州大学(U02)) |
| 2016年7月8日-10日 | 第4回全国博士課程教育リーディングプログラム学生会議 (主催学生所属プログラム：千葉大学(O03)、筑波大学(C01,R01)) |
| 2015年6月20日-21日 | 第3回全国博士課程教育リーディングプログラム学生会議 (主催学生所属プログラム：北海道大学(F01,Q01)) |
| 2014年6月21日-22日 | 第2回全国博士課程教育リーディングプログラム学生会議 (主催学生所属プログラム：熊本大学(I02)、九州大学(J03)、長崎大学(O05)) |
| 2013年10月26日-27日 | 第1回全国博士課程教育リーディングプログラム学生会議 (主催学生所属プログラム：兵庫県立大学(F06)) |
| ○全国博士課程教育リーディングプログラム合同女子会 (公式ウェブサイトへのリンク) | |
| 2018年11月16日-17日 | 第2回全国博士課程教育リーディングプログラム合同女子会 (主催プログラム：お茶の水女子大学(T02)) |
| 2016年3月26日-27日 | 第1回全国博士課程教育リーディングプログラム合同女子会 (主催プログラム：名古屋大学(G02)) |

※ 日本学術振興会HP「関連の全国イベント」より。
 ※ 赤線は事務局にて付記。

■ シーズ研究振興に関する取組例

世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI) 募集要項

- (5) 環境整備
- 世界から集まるトップレベルの研究者が、国際的かつ競争的な環境の下で快適に研究できるようにするため、例えば、以下のような措置を講じること。
- ① 研究者から教育研究以外の職務を減免するとともに、種々の手続き等管理事務をサポートするためのスタッフ機能を充実させることなどにより、研究者が快適に研究できるような環境を提供すること。なお、研究者の大学院教育への参画についても必要な配慮に努めること。
 - ② 招へいた優秀な研究者が、移籍当初、自らの研究を精力的に開始できるよう、必要に応じスタートアップのための研究資金を提供すること。
 - ③ ポスドクは、原則として国際的公募により採用すること。
 - ④ 職務上使用する言語は英語を基本とし、英語による職務遂行が可能なスタッフ機能を整備すること。
 - ⑤ 研究成果に関する厳格な評価システムと能力に応じた俸給システム(例えば年俸制等)を整備すること。
 - ⑥ 「世界トップレベル研究拠点」としてふさわしい研究室、居室等の施設・設備環境を整備すること。
 - ⑦ 世界トップレベルの研究者を集めた国際的な研究集会を定期的(少なくとも年に1回)に開催すること。

世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI) Q&A集

問 35. 先行する拠点では、融合研究を促進するための研究費を措置しているがどのような位置付けなのか。また、スタートアップ研究費を措置できる年数に限りはあるのか。

(答)

補助金では研究プロジェクト費とすべきものは措置できませんが、事業の趣旨に鑑み、スタートアップ研究費が措置できます。融合研究の促進についても、拠点内で適切に制度を整備し運営する場合には、補助金から融合研究の促進のためのスタートアップ研究費を措置できます。原則としてスタートアップ研究費は、当該研究者が競争的資金等の研究費を申請・獲得するまでの間の、立ち上げのための研究費です(いわゆるシードグラントと言えるもの)。具体的な年限は、研究分野や研究の性質等によっても異なると考えられるため、設けないものの、前述の趣旨に鑑み、あまりに長期にわたりスタートアップ研究費を定期的に支出し続けることは望ましくないと考えますので、スタートアップ研究費への支出は、真に必要なものに限定するようお願いいたします。

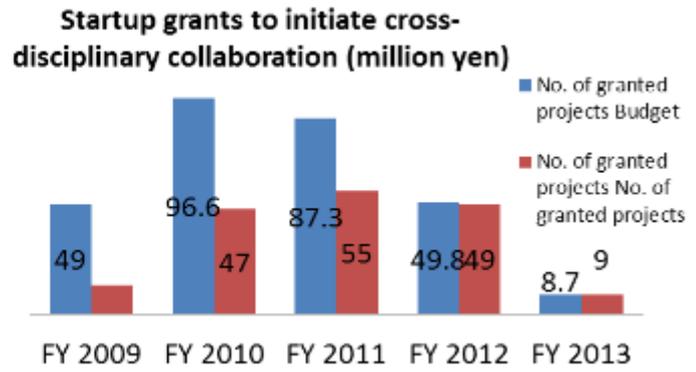
※ 左:平成30年度世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI) 公募要領、
 右:平成30年度世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI) Q&A集より。
 ※ 赤線は事務局にて付記。

世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI) 物質-細胞統合システム拠点(iCeMS)

拠点形成報告書(最終報告) p10より

1. 学際研究に向けたスタートアップ支援

若手教員やポスドク研究者によるiCeMS内での学際共同研究を支援する「若手研究者探索融合研究助成」制度と、京都大学内の他部局研究者との融合研究プロジェクトを支援する「学際融合研究推進プロジェクト」の2つの制度が展開されている(後者は2009年度サイトビジットでの指摘を受けてiCeMS外への展開を開始)。



■ シーズ研究振興に関する取組例

ペンシルベニア州立大学

セキュリティ教育・研究センター ホームページより

Grant Program and Application

The Center for Security Research and Education (CSRE) at Penn State offers grants to support interdisciplinary research, curricular development, and educational activities addressing the broad range of security challenges confronting society. During the Academic Year 2020-2021 grant cycle, all proposals meeting the criteria below are welcome; proposals addressing topics related to critical infrastructure interdependencies and resilience are especially desired.

Eligibility

CSRE grant applications may be submitted by any full-time Penn State faculty member, as defined in Penn State Academic Policy AC21 found at <https://policy.psu.edu/policies/ac21>.

Full-time, non-faculty Penn State research and engineering staff members, such as Research and Development Engineers (see <https://hr.psu.edu/recruitment-and-compensation/job-profiles/research-engineering> for a complete list of job profiles) are also eligible to submit proposals.

Applications for Fall 2020 Impact, Seed, and Education Grants must be received by November 2, 2020.

Grant Categories and Funding Levels

This CSRE call for proposal covers four types of grants and funding levels:

1. **Impact Grants** may be awarded by an independent selection committee in amounts not to exceed \$30,000. Impact Grants are designed to support interdisciplinary collaboration and to pursue specific and significant external funding opportunities.
2. **Seed Grants**, which may be awarded by an independent selection committee in amounts not to exceed \$15,000. Seed Grants are intended to facilitate the development of innovative, interdisciplinary, and security-relevant initiatives and to explore external funding opportunities.
3. **Education Grants**, which may be awarded by an independent selection committee in amounts not to exceed \$5,000. Education grants are designed to support interdisciplinary security-related curricular or educational program development or enhancement, e.g. the creation of a multi-college, security-relevant course or the enhancement of an existing, interdisciplinary, security-relevant course.
4. **Director's Grants**, which may be awarded by the CSRE director in amounts not to exceed \$1,000. These grants are designed primarily to support interdisciplinary security-related public service, outreach, and education programs. Proposals may be submitted at any time (proposals are not subject to the deadline for the other grant categories) to csre@psu.edu.